

2月11日(日・祝)

(建国記念日)

午後1時より開場

午後1時半より

時節柄、お食事を用意していません。*お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

大般若祈禱会

●厄払い ●所願成就 ●星まつり

新春福引大会は、今年も開催を見送りさせていただきます、来年は、皆様にお楽しみいただけるよう準備を進めて参ります。

道しるべ

宮の森 大乘院

令和六年
新年号

大乘院寺報 令和6年1月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第94号

和顔愛語

住職 田中清元

明 けましておめでとございませう。令和六年の幕開けです。今年こそ明るく楽しく健やかに、少しでも幸せを実感出来る良き年でありたい。

誰もがそう祈つての新年です。ところが、その大切なスタートがどうにも雲行きが芳しくない。昨年は、ウクライナ戦争はあっても、コロナ禍からの脱皮や経済回復による生活向上などへの期待感が大きかった。そして何よりも「さあ今年こそ」という気概が日本中で溢れておりました。

それが、今年の新年は少々希薄のようです。国際的には、ウクライナ戦争継続やイスラエルのガザ地区侵攻、台湾紛争勃発の危険性などに続き、中国経済破綻による世界不況の懸念もあり、日本も無縁ではないでしょう。昨年末、一年を象徴する漢字に「税」が選ばれたのも国民の経済不安を現したものでないでしょうか。

テレビに映されるのは、国のリーダーであるべき政治家の悪事ばかりが目立ち、憂国の念、明日への展望はどこへ行ったのか。

このような不毛を乗り越える困難は少なくないが、我々が本来持っている勤勉な精神を発揮して果敢に挑戦し、新しい時代に相応しい希望に満ちた日本を必ずや築いてくれる事と、願望を持って、信じております。

私たち仏教者である、僧侶も同じ責任があります。人々の艱難辛苦を、お釈迦様の教えを通して夢を与える責務です(抜苦与楽)日々の安寧、心身ともに充実した人生、そして生きる力と豊かな未来を。

日々の修行と坐禅の行の中で、「何を説き



令和六年元旦 合掌

私たちが仏教者である、僧侶も同じ責任があります。人々の艱難辛苦を、お釈迦様の教えを通して夢を与える責務です(抜苦与楽)日々の安寧、心身ともに充実した人生、そして生きる力と豊かな未来を。

今年が良き年であったと云えるように。新年のご挨拶が、師走のお歳暮みたいになりましたが、鬼をも笑わすような二年になりますよう皆様の菩提寺、宮の森薬王寺は悲しみも苦しみをやがて薬のように心の闇を照らす寺院を目指します。

どうぞ皆様、本年も辰の如し天を舞い、山寺にご参拝お待ち申し上げます。

2月11日(日・祝) 大般若祈禱会のご案内

午後一時開場 午後一時半より
三蔵法師直伝の「大般若経」で
平和を願い、厄を払い、
所願成就を御祈禱します

孫悟空の「西遊記」で有名な三蔵法師が、十七年の歳月をかけ、インドから中国に持ち帰った六百巻からなる大経典です。その貴重な経文を転読(左右前後に振る事)し、平和な世界、人々の除災招福を御祈禱致します。またその風にあたると一年間は無病息災になると言われています。大般若の寿風に接してみましよう!

厄払い | 御祈禱料五千元

厄年とは運氣が下がりが災難に遭いやすい年です。大きな節目の年で身体の変化にも気を付けなければならないと云われ、仏天の御加護を頂き、厄災が降りかからないように御祈禱します。厄年早見表を御確認頂き「本厄・前厄・後厄」を御記入下さい。ご家族以外の方でも、遠方にお住いの方のお申込みも出来ます。

令和6年
「厄年」
早見表

*年齢は数え年、今年誕生日の年齢プラス一歳です

	前厄	本厄	後厄
男性・女性 61歳	昭 41 年生	昭 40 年生	昭 39 年生
男性 42歳	昭 59 年生	昭 58 年生	昭 57 年生
女性 37歳	昭 64 年生	昭 63 年生	昭 62 年生
女性 33歳	平 5 年生	平 4 年生	平 3 年生
男性 25歳	平 13 年生	平 12 年生	平 11 年生
女性 19歳	平 19 年生	平 18 年生	平 17 年生
幼児 4歳	令 3 年生	令 2 年生	平 31 令元

長寿祝い | 御祈禱料五千元

命の営みを神様に感謝し、年を重ねる喜びや家族や友人を大切に思う心を確認し合う節目の儀礼です。

所願成就 | 御祈禱料三千元

今年、特に願われることを御祈禱致します。同封の申込用紙の御祈禱項目よりお選び頂き、御記入下さい。併せて皆様には御家族全体の無事を祈る「家内安全」のお礼もおすすみ致します。複数のお申込みも出来ますが、一祈願ごとの御祈禱がかかります。

星まつり | 御祈禱料千円

個人の一年間の幸福と無事を祈り、災いから身心を守る御守りです。

御志納供養 | 祝い年

ご志納頂いた皆様の御名前を本堂に掲示し、読上げの先祖供養をお勧め致します。



【お申込み方法】

同封のお申込書に御祈禱項目(厄払い、所願成就、星まつり、ご志納)を御記入のうえ、ご供養料と一緒にお詣りに伺った時にお渡し下さい。ご記入いただいた申込書を同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送いただき、ご祈禱料は振込用紙(郵便局)にて御納付下さい。☆当日ご参詣できなかった方には、後日おふだを御郵送致します。

ご郵送の場合

令和6年(2024年)行事とお参り		
1月	1日(祝)	元朝祈禱会
2月	11日(祝)	大般若祈禱会
3月	11日(金)	大震災慰霊供養
3月	20日(日)	春彼岸中日法要
5月	第2・第3(日)	花まつり
7月	下旬	子ども坐禅会
8月	15日(月)	新盆万燈供養
8月	20日(土)	お盆大法要
9月	22日(木)	秋彼岸中日法要
10月	上旬	両祖報恩会
12月	8日(木)	釋尊成道会
12月	31日(土)	除夜法会

令和6年(2024年)年忌表		
1周忌	令和	5年
3回忌	令和	4年
7回忌	平成	30年
13回忌	平成	24年
17回忌	平成	20年
23回忌	平成	14年
27回忌	平成	10年
33回忌	平成	4年
37回忌	昭和	63年
50回忌	昭和	50年
100回忌	大正	14年

長寿祝い早見表		
	数え年	満年齢
還暦 60歳	1964年(昭和39年)	*還暦は数え年で祝い
古希 70歳	1955年(昭和30年)	1954年(昭和29年)
喜寿 77歳	1948年(昭和23年)	1947年(昭和22年)
傘寿 80歳	1945年(昭和20年)	1944年(昭和19年)
米寿 88歳	1937年(昭和12年)	1936年(昭和11年)
卒寿 90歳	1935年(昭和10年)	1934年(昭和9年)
白寿 99歳	1926年(大正15年・昭和元年)	1925年(大正14年)
百寿 100歳	1925年(大正14年)	1924年(大正13年)
茶寿 108歳	1917年(大正6年)	1916年(大正5年)
皇寿 111歳	1914年(大正3年)	1913年(大正2年)
大寛寿 120歳	1905年(明治38年)	

お寺だからできる安心の御供養があります。終活、墓じまい、仏事のことなど何でもお問合せください。将来的な後継者問題や、残された御家族への負担もありません。宮の森 大乘院 薬王寺 TEL:011-641-8904 FAX:011-631-0004 Email:yakuou@triton.ocn.ne.jp

護持会費納入について 令和4年度より、郵便局から現金でお振込み頂く場合、振込手数料が発生致します。こちらはお客様負担となってしまいますので予めご了承下さい。口座からの振り込みにつきましては従来通り手数料は発生致しません。お振込み頂く際はご注意ください。

編集後記 心を高める

最近、修行時代の事をお思い出します。それは厳しい思いですが、戒律の中での生活ですが、回を重ねて時間がたつと共に、苦痛はなくなってきました。戒律と生きていた間は苦痛しか感じていなかったのですが、いつしか身に付き、それが当たり前となった時、苦痛の心は、何処かへ行ってしまいました。その中から鍛え抜かれた人間の美が生まれるのかもしれない。辛抱する心、学ぶ心、許す心、真心、人間としての美しい心を磨き、自身を高めていく事が大切だとあらためて感じています。お師匠様や両親、仏心塾の後輩達から学び共に心を高めて行きたいと思えます。院代 慎龍 合掌

お寺のできごと

9月23日 秋彼岸法要

「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」国民の祝日である秋分の日、旧本堂と新本堂で秋彼岸法要を行いました。昼夜の長さが同じになる秋分の日を中心に前後3日間を合わせた7日間を布施施すこと、持戒(戒めを守ること)、精進(努力すること)、忍辱(耐え忍ぶこと)、禪定(心を落ち着けること)、知恵(真理に基づく考え方や生き方をする事)の6つの徳(六波羅蜜)を毎日積み、仏教の教えを実践する週間でもあります。御先祖様を偲び、自分が今あることに感謝して、感謝の報恩を致しました。



10月10日 永代供養納骨法要

天候にも恵まれ永代供養の納骨法要を執り行うことが出来ました。当山御住職・導師のもと、納骨された皆様のお名前を一人一人丁寧に読み上げられました。永代供養を志された御施主様方にもご参列・ご焼香を頂きました。納骨をする大切さ、そして相手を本心に想う事についてご法話を頂きました。



開拓殉難者慰霊供養

二〇一八年に百五十年を迎えた北海道開拓の歴史の中で礎となり、尊い命を犠牲にされたアイヌ先住者、韓国朝鮮、中国出身者の方々の慰霊供養。先代様の代より境内地に「北海道無名開拓殉難者慰霊の碑」を建立し、いままなお韓国や中国の寺院と親善交流を深め、慰霊を続けております。今の北海道の繁栄は先人たちの苦労の上に成り立っていることを改めて認識し慰霊供養を勤修致しました。

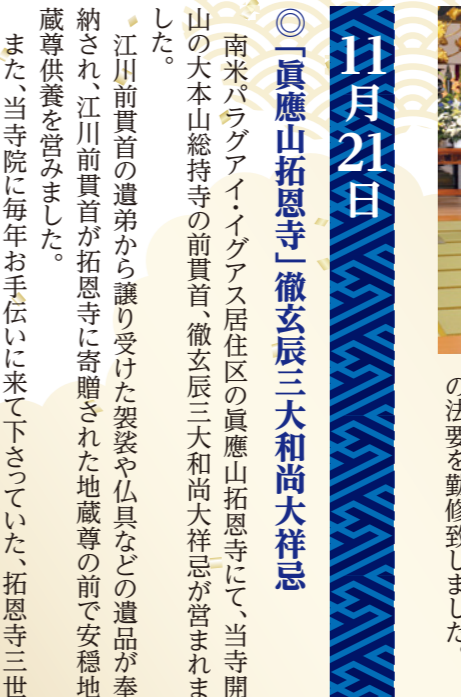


開山忌

大本山永平寺を開かれた高祖承陽大師道元禪師様は、建長5年(1153)8月28日に、京都高辻西洞院寛念邸で、54歳で示寂されました。

11月21日 「眞應山拓恩寺」徹玄辰三大和尚大祥忌

南米パラグアイ・イグアス居住区の眞應山拓恩寺にて、当寺開山の大本山総持寺の前貫首 徹玄辰三大和尚大祥忌が営まれました。江川前貫首の遺弟から譲り受けた袈裟や仏具などの遺品が奉納され、江川前貫首が拓恩寺に寄贈された地蔵尊の前で安穩地蔵尊供養を営みました。また、当寺院に毎年お手伝いに来て下さっていた、拓恩寺三世島崎允法大和尚の墓前供養、四世ブルーノ正栄老師の首座法戦式も執り行いました。拓恩寺は当山田中清元住職が2010年にイグアス居住区で日系開拓先住者法要を行ったことを契機に江川前貫首を開山に仰ぎ開かれたお寺です。遠く離れた地で当寺院の縁のあるお寺が地元の方々の心の拠り所として根付いている事に深く感動致しました。



謹賀新年

新年のご挨拶

大乗院薬王寺住職 田中清元

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに檀信徒の皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。東原俊郎総代長、遊佐敬二 護持会長、檀信徒の皆様との有縁の厚いお志のお陰でお寺が安心の拠り所となっております。任職として責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。皆様方には、本年も変わらぬご支援ご法愛を賜りますようお願い申し上げます。

東原俊郎 総代長



遊佐敬二 護持会長



謹んで新年のお慶び申し上げます。本年も皆様のご住職、そして皆様と一緒に薬王寺が心の拠り所となるようお手伝いさせていただきます。皆様のご健康とご多幸を心より御祈願申し上げます。

12月31日 除夜法要・修正會のご案内

「修正會(しゆしやうえい) 新しい年の始まりにあたり最初に営まれる法要です。新しい一年間の世界平和や檀信徒皆様の厄災消除・仏法の興隆を祈ります。世界最大級の法要を一緒に突きながら、皆様のご多幸をお祈りします。是非、ご参加ください。」



12月8日

月寒忠霊塔慰霊供養

今年も豊平区月寒の平和公園(旧陸軍墓地)内にある月寒忠霊塔に於いてご住職の御導師により、供養塔内で慰霊法要をお勤め致しました。



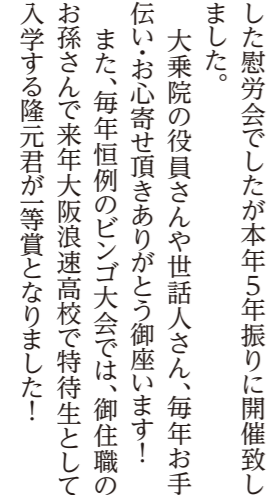
積尊成道會

お釈迦さまがさとりを開かれたこと(成道)を記念して12月8日におこなう法会です。本年も新本堂にてご住職の御導師により成道会法要・志納供養法要を厳修いたしました。



大乗院慰勞會

新型コロナウィルスの影響で中止しておりました慰勞會でしたが本年5年振りに開催致しました。大乗院の役員さんや世話人さん、毎年お手伝い・お心寄せ頂きありがとうございます。また、毎年恒例のビンゴ大会では、御住職のお孫さんで来年度大阪浪速高校で特待生として入学する隆元君が二等賞となりました!



活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

子ども空手教室

心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日 午後5時より 小寺
全道中3連覇中

ヨガ教室

心と体と向き合しましょう
呼吸とポーズを組み合わせたヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があると言われています。

ご詠歌

仲良く楽しく唱えましょう
毎週金曜日 午後1時より 会費あり

スキー少年団

心と頭と感性を磨きましょう
お寺では、住職の長女・亜実さんがお手伝いしているアルペンスキー少年団の指導も行って、心と身体と感性を一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

坐禅会

体と心を調えましょう!
毎月1日・15日 午前7時より 参加無料

活動のご案内

また、大本山總持寺を開かれた太常宗大師瑩山禪師様は、正中2年(1325)8月15日に、石川県羽咋市の永光寺にて、58歳で示寂されました。

これをうけて、太陽暦での9月29日を、両祖大師のご命日として、「両祖忌」と定め、当山御住職導師のもと報恩感謝の法要を勤修致しました。